

# わがまちの「ちよつといい話」

NO. 63

「道徳のまち笠松」推進会議  
(笠松町教育文化課)

九月二十二日（土）

早朝八時、国道二十二号線近くにある円城寺集会所前に各々ゴミ拾いの道具を手にして二十五名の方々が集まった。円城寺地内のJR東海道線、国道二十二号線、堤防道路の交差点付近一帯のポイ捨てゴミを拾うため、

地域の方、道徳のまち笠松など町をきれいにしたいと願う人達であった。

◇ ◇ ◇  
九月に入り、JR東海道線沿線の草が刈られた。また、堤防道路から国道二十二号線への登り下りの道路沿いの草も一部刈られた。その結果、草に隠れていたゴミが現れ、目をおおいたくなる状況になった。日々、この道を利用したり、地域で生活したりする方

**国体を迎え、国道二十二号線沿い  
ポイ捨てゴミゼロ運動！**



架下に来る堤防道路の区間は、以前よりきれいな状態が保たれるようになってきた。改善されてきたが、ポイ捨てゴミがゼロになったわけではない。

◇ ◇ ◇  
ゴミで汚された箇所を二十五人で分

はどんな思いで通られるのか。心が痛む。放置すれば、さらにゴミは増える。こうした状況を改善しようと、道徳のまち笠松推進会議きれいなまち部会が取り組みを呼びかけたのである。

◇ ◇ ◇  
これまで、地域の方々は一斉清掃以外にも、時折ゴミ拾いをされている。道徳のまちでもゴミを拾ったり、のぼり「ポイ捨てしますか 心も捨てますか」を立てたりしてきた。そして、最近では国道二十二号線の高架下からJR東海道線高架下に到る堤防道路の区間は、以前よりきれいな状態が保たれるようになってきた。改善されてきたが、ポイ捨てゴミがゼロになったわけではない。

担し、一時間ほどでトラック一台分のゴミを回収した。一人でやれば二十五時間分の仕事に相当する。しかし、みんなの力により一時間で終わることができた。きれいになった道路を見ると、心も清々しい。さらに、人とつながる心、自ら取り組む心、思いやる心を育むことにもつながった。ゴミを拾う姿やきれいになった道路は、通行される方々の心をも育むことであろう。



「道徳のまち」のぼりを立て、拾ったゴミの分別をする